

NISSIN 日清食品ホールディングス

# NISSIN REPORT

第63期株主通信

2010年4月1日から2011年3月31日まで

お湯とともに40年。  
これからも、あなたのために。

40th Anniversary  
カップヌードル

証券コード：2897

もっと「食」を動かそう。

NISSIN  
GROUP

— グループ理念 —

私たち日清食品グループは、さまざまな「食」の可能性を追求し、  
夢のあるおいしさを創造していきます。  
さらに、人類を「食」の楽しみや喜びで満たすことを通じて、  
社会や地球に貢献します。

# EARTH FOOD CREATOR



## 株主の皆様へ

To Our Shareholders

### 「技術イノベーション力」と「マーケティング力」で、 ブランディング強化を推進します。

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。また、このたびの東日本大震災と未曾有の大津波で亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

日清食品グループでは、被災された皆さまの安全と被災地の一刻も早い復旧と復興を衷心よりお祈り申し上げ、できる限りの支援を全力で行ってまいります。

ここに、第63期(2010年4月1日から2011年3月31日まで)株主通信をお届けするにあたり、株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



日清食品ホールディングス株式会社  
代表取締役社長・CEO

安藤宏基

### Q 当期の総括をお願いします。

### A 厳しい環境ながら、ブランド価値向上 に努め、増収増益を達成しました。

当期のわが国経済は、一部の企業で持ち直しの傾向が見られるものの、円高等による景気の下振れ懸念に加え、3月11日に発生した東日本大震災の影響も懸念され、国内景気は不透明感を増しています。当社グループの中核である即席めん業界も、低価格志向や記録的な猛暑の影響などもあり、厳しい環境にありました。

このような中、当社グループは消費者ニーズに対応した製品開発を推進し、新「日清ラ王」を立ち上げるなど、ブランド価値の向上に努めました。なお東日本大震災の影響につきましては、子会社の工場や支店などに一部被害がありましたが、損失は軽微にとどまりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高は前期比1.0%増の3,749億32百万円となりました。また利益面においては、営業利益が前期比26.3%増の345億37百万円、経常利益が前期比11.0%増の364億18百万円、また当期純利益は東日本大震災に伴う災害による特別損失9億76百万円を計上したものの、前期比1.3%増の207億56百万円となりました。

### ■ 当期業績と次期の業績予想(連結) (円)

	第63期実績 (2011年3月期)	第64期業績予想 (2012年3月期)
売上高	3,749億	3,950億
営業利益	345億	260億
経常利益	364億	280億
当期純利益	207億	210億

## 株主の皆様へ

To Our Shareholders

**Q** めんの技術革新について教えてください。

**A** 技術革新によりインスタントラーメンの新世代めんが登場しました。

日清食品では、特に2009年の「全麺革命」以降、めんの技術が飛躍的な進歩を遂げ、「3層太ストレート製法」による新世代めんが登場しました。これにより、ラーメン専門店の「生めん」に匹敵するようなおいしさを実現できました。

今後も、さらなるめん技術の進化・深化を続けていきます。

**Q** 海外事業についてはいかがでしょうか。

**A** 成長著しいアジアを中心に現地化の深耕を徹底していきます。

成長著しいアジアに多くの経営資源を振り向け、現地の事業展開を加速する体制作りのため、2011年3月にはアジア戦略本部を新設しました。また、タイの

子会社の増資を行い、インスタントラーメンの消費量が世界第4位のベトナムにも子会社を設立しました。

今後、当社グループは、地域No.1ブランドを目指して、多様なニーズに応える製品を提案していきます。また現地化の深耕を徹底して、現地の人が最も「Comfortable(心地よい)」と感じる製品を提供してまいります。

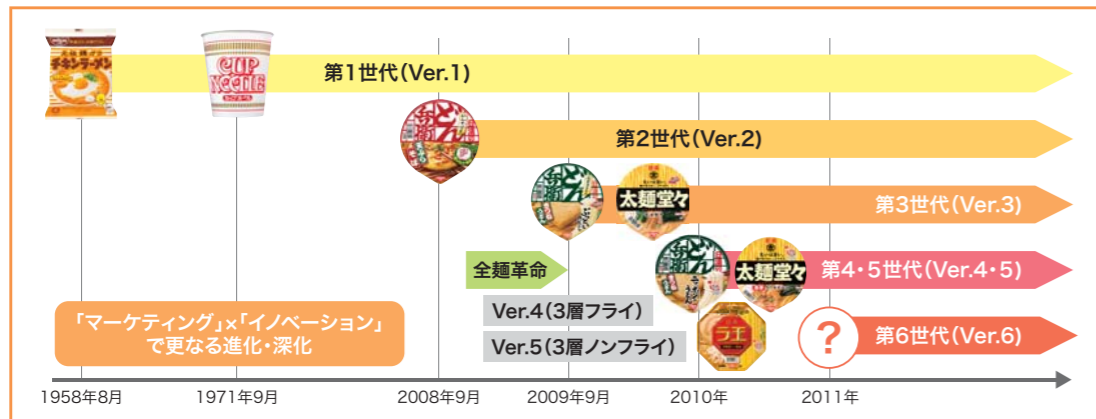
**Q** 2010年度のブランド戦略の成果についてお聞かせください。

**A** ブランディング強化に向けて着実に歩を進めることができました。

当期はブランディングにおいて新たな成長の芽がみられました。

日清食品では「日清ラ王」「カップヌードルごはん」が高い評価をいただき、明星食品では業界初のノンフライのたて型ビッグ製品の発売が実現しました。日清食品チルドの「つけ麺の達人」や、日清食品冷凍の「スパ王プレミアム」、日清シスコの「ダック

### ■ 技術革新によるインスタントラーメンの新世代めん登場



ワーズ」など、新しいブランドも着実な浸透を見せています。日清ヨークは、新設した関西工場を足掛かりにブランドの全国展開を始めました。

当社グループは、常に臨機応変かつ「Proactive(積極進取)」な姿勢を心掛け、変化する市場環境に果敢に立ち向かい、適切に対応していきます。

今後も新たなブランディングの芽を成長、開花させるため、当社の強みである「技術イノベーション力」と「マーケティング力」を駆使して、カテゴリNo.1ブランドの集合体としての「ブランディングコーポレーション」の実現を目指していきます。

**Q** CSR活動の推進状況はいかがでしょうか。

**A** 「百福士プロジェクト」をはじめ、食糧支援活動など様々な活動に取り組んでいます。

当社グループでは、「食足世平」(食足りて世は平らか)という創業者精神に基づき、食糧支援活動に取り組んでいます。このたびの東日本大震災では、直ちに被災地に向けて、約200万食の「カップヌードル」などの自社製品を無償提供し、給湯機能付のキッチンカーも派遣しました。

2008年にCSR活動の一環として開始した「百福士プロジェクト」は4年目に入ります。

2010年8月、私は国連WFP協会の会長に就任し、世界の飢餓撲滅のため食糧支援に取り組むことになりました。

また2011年9月には「カップヌードルミュージアム」が完成します。この体験型食育施設を通じて、子どもたちに「発明・発見の大切さ」やベンチャーマインドを伝えていきたいと思っております。

**Q** 次期の配当予想と株主還元についてのお考えをお聞かせください。

**A** カップヌードル発売40周年記念配当を実施し、今後も安定配当の継続に努めます。

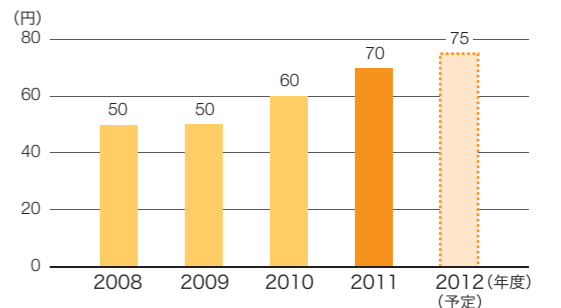
当社グループでは、株主の皆様への適切な利益還元を経営上の最重要課題と捉え、グループ収益力の強化に努めています。

当期の期末配当は、1株当たり35円とします。当期の中間配当(2010年11月実施)では、1株当たり35円の配当とさせていただきますので、今年度の年間配当は1株当たり70円となります。

次期の株主配当につきましては、中間配当時に、1株当たり35円の普通配当に加え、今年「カップヌードル」が発売40周年を迎えることを記念して、1株当たり5円の「カップヌードル発売40周年記念配当」を実施いたします。従いまして、次期の年間配当は1株当たり75円(中間配当1株当たり40円)とさせていただきます予定です。

今後とも、連結業績や資金需要を勘案しながら、継続的かつ安定的な利益還元を行うと同時に、効率的な資金運用により企業価値の向上を図ってまいります。

### ■ 1株当たり配当金



# 躍進する海外インスタントラーメン事業

日清食品グループでは、海外事業の拡大をドラスティックに推進しています。技術力とマーケティングによるイノベーションにより他社と差別化した製品を開発し、市場構造の変革に努めてまいります。特に今後大きな成長が見込まれる新興国については、経営資源を集中し、市場拡大を目指します。

## ロシア

LLC MAREVEN FOOD CENTRAL  
MAREVEN社にて「ロシアン  
スタンダード カップ」が販売好調!



ロシアNO.1インスタントラーメンメーカーのMAREVEN社は、当社グループが33.5% (2011年3月現在)の株式を保有する資本業務提携先の事業会社です。当社が長年培ったノウハウを活かした「Rollton」ブランドの新シリーズ (通称: Russian standard cup)の売れ行きが好調で、「新たなロシアのスタンダードとなる製品」として期待されています。今後も、当社グループは、MAREVEN社の企業価値向上とロシアのインスタントラーメン市場の活性化に貢献していきます。

## 欧州

NISSIN FOODS GmbH  
ヨーロッパで人気の日本食、焼そばを手軽に  
食べられる、新ブランド「Soba」を発売!



2011年3月、新ブランド「Soba」を発売しました。ドイツ・イギリスを中心に日本人気が高まる中、特に人気のある「焼そば」を手軽に食べられる製品として、カップ・袋めんでの展開を図ります。

味は日本と同じタイプのクラシックソースとスパイシーなチリソースの2種類。パッケージは、売場でのインパクトを与える斬新なものにしています。この製品が新たなブランドに成長するよう、販売拡大に挑戦します。

## インド

INDO NISSIN FOODS LTD.  
主力製品「TOP RAMEN」に  
新キャラクター登場!



インドのインスタントラーメン市場の急成長を背景に、2011年4月、主力製品「TOP RAMEN」を、主要なターゲットである子ども向けに、インドで人気のバドミントン選手、サイナ・ネワル氏をアンバサダーとして、新キャラクター「TOP BOY」とともに採用し、大幅なりニューアルを実施しました。これに連動して積極的な拡販を行い、インドNo.1ブランドを目指していきます。

## 中国

広東順徳日清/上海日清食品有限公司

日本でもおなじみ  
「拉王(ラ王)」を  
広東・上海の2地区で発売!



2010年11月、日本でもおなじみの「拉王(ラ王)」を、広東と上海で同時発売しました。めんは、日本で2010年9月に発売した「ラ王」と同じ3層太ストレート製法を採用。経済成長の著しい現地の経済環境に適應して、いち早く付加価値型製品を市場に導入し、技術的な優位性を武器にした差別化戦略を推進していきます。

## 米国

NISSIN FOODS (U.S.A.) CO.,INC.  
スプーンで食べられるヌードル  
「BIG CUP NOODLES」を新発売!

2011年2月、「Spoonable=スプーンでヌードルとスープを同時に楽しめる」をコンセプトにした製品「BIG CUP NOODLES」を発売しました。めんをすすめないアメリカ人の食実態に合わせた製品に進化させ、これまで「Asian Food」の代名詞であったカテゴリーからの脱却を図り、アメリカのインスタントラーメン市場のパラダイムシフトを図ります。



## タイ

NISSIN FOODS (THAILAND) CO.,LTD.  
タイ日清の事業強化を目的に増資!

アジア戦略の一環として、タイ日清に約32億円増資を行いました。今後、販売面及び生産面でも計画を見直し、タイ国内でのマーケットシェアの拡大を図っていきます。



## アジア

ASIAN OPERATIONAL  
HEADQUARTERS  
アジア戦略本部を設置!

今後大きな成長が見込まれるアジア地域の事業展開を加速する体制を構築するため、2011年3月にアジア戦略本部をシンガポールに設置しました。

## ベトナム

NISSIN FOODS VIETNAM CO.,LTD.  
ベトナム日清設立!

ベトナム社会主義共和国は、インスタントラーメンの消費量が48.2億食 (2010年推定)と中国、インドネシア、日本に次ぐ世界第4位の市場です。また経済成長に伴い消費者の購買力も向上しており、東南アジア有数の人口 (約8,600万人)の約60%が30歳以下であるため、飛躍的な消費の拡大も期待されています。日清食品グループで、長年培った生産ノウハウや技術を駆使し、将来のニーズに応える製品をベトナムの消費者に提案していきます。

## カテゴリーNo.1 製品を創造・育成

2010年は、日清食品グループ各社で、新たな成長の芽が見られる年となりました。中でも日清食品が3層太ストレート製法の次世代めんを搭載して秋に発売した「日清ラ王」は『日清史上、最高傑作』のコピーに違わぬ品質を実現し、大ヒットとなりました。今後もめまぐるしく変化する市場環境に柔軟に対応したブランディングに努め、更なるカテゴリーNo.1製品の創造・育成を図ります。



### 独自技術で実現した 「カップヌードルごはん」

日清食品は、「カップヌードル」の味をごはんで再現した「カップヌードルごはん」を近畿地区で先行発売し、一時販売休止になるほどのご支持をいただきました。独自製法のパフライスを使用し、米一粒一粒が立ったコシのある食感を楽しめます。今後の全国展開を視野に入れ、米飯製品においても、日清食品ならではの楽しさを提供してまいります。

### 品質訴求型製品のフラッグシップ「究麺」

「明星 究麺(きわめん)」シリーズは、生めん風の新食感でご好評をいただいています。2009年以降、高価格帯製品のシェアが伸びる中、「究麺」シリーズは、テレビ番組で高い評価を受けたこともあり、予想をはるかに超える売れ行きとなりました。今後も品質強化を進め、顧客満足度の高い品質訴求型製品のフラッグシップとして浸透を図ります。



### 達人技を極めた「つけ麺の達人」

日清食品チルドの「つけ麺の達人」は、現在、チルド温つけ麺ジャンルで約50%のシェア\*を占め、市場のけん引役となっています。2011年2月には、更なる製品力アップのため、つけ麺専用小麦粉を使用した、香りともっちり感が更に際立つめんと、新製法による濃厚でマイルドなたれにリニューアル。新フレーバーや替え玉も追加し、充実したラインナップとなりました。

※インテージSCI 2010年4月～2011年3月 購入金額シェア



### 本格パスタ「スパ王プレミアム」



2011年3月、日清食品冷凍は「スパ王プレミアム」シリーズをリニューアル発売しました。本シリーズは、9種類の本格パスタをリーズナブルな価格で手軽に楽しめることから、2010年3月の発売以来、大好評をいただいています。今回は更にプレミアム感を追求し、具材、ソースともに全面リニューアルしました。

### パティシエのこだわり「ダックワーズ」

2010年9月、日清シスコは「パティシエのこだわり『ダックワーズ』」の発売に伴い、新製品PRイベントを行いました。本製品は、丁寧に立てたメレンゲを、表面はさくっと中はふわっと焼き上げ、やわらかな食感とアーモンドの風味をきかせたこだわりの逸品です。洋菓子専門店では味わえなかった味と食感をご自宅でも手軽にお楽しみいただけます。



### 「ピルクル」を全国展開

日清ヨークの主力製品「ピルクル」は、生きた乳酸菌を手軽に摂れる特定保健用食品として高いブランド力を持っています。2010年9月に新設した関西工場を拠点に西日本地区の販売チャネルも拡充し、「ピルクル」ブランドの全国展開が実現。今後も健康をサポートするための製品ラインナップの充実を図り、ブランド強化に努めます。





日清焼そばU.F.O. 日清食品

発売35周年を迎える「日清焼そばU.F.O.」をリニューアル発売しました。モチモチ食感の中太めにロースト感のある濃厚ソースが良く絡む食べ応え満点の一品となります。また今回は、東日本のソース焼そばの分析を行い、その結果をもとに開発した「東日本限定バージョン」も発売。スパイスの芳醇な香りとポークの旨みを併せ持つ特製ソースと、日清食品独自の3層太ストレートめんが特徴です。

明星 ラーの道 炊きだし鶏しょうゆ 明星食品

カップめん「明星 ラーの道 炊きだし鶏しょうゆ」を2011年6月27日に新発売いたします。従来のたて型カップのめんでは表現できなかった“コシ”と“つるみ”を明星独自の「スチームノンフライ製法」で実現。スープは鶏ガラ旨みと鶏油の甘みが特徴で、コクがありながらも切れのよい鶏しょうゆ味に仕上げました。具材にはボリューム感のある肉ダイスやタマゴ、チンゲンサイなどを選びました。上質なめんとスープを楽しんでいただける一歩進んだカップめんです。



ひるぜん風焼そば 日清食品チルド

「横手風焼そば」「北見風塩焼そば」で人気が高い「話題のご当地焼そば」シリーズに、「ひるぜん風焼そば」が加わりました。これは、岡山県の蒜山(ひるぜん)地方のご当地焼そばを、「ひるぜん焼そば好いとん会」の監修のもとに再現したものです。しっかりとしたコシがある太めんと、味噌だれにタマネギとリンゴの甘み、赤唐辛子の風味をきかせた甘辛ソースに仕上げました。別添で味噌だれと相性がよい山椒が付いています。



冷凍日清のラーメン屋さんプラス 日清食品冷凍  
中華そば

「日清のラーメン屋さんプラス」シリーズは、「中華そば」「もやし味噌」「塩バターコーン」「高菜とんこつ」「酢辣湯麺」の全5品で展開しています。スープと具材付きの冷凍めんをお鍋ひとつで手軽に調理できるうえ、価格もリーズナブルでご好評をいただいています。「中華そば」は、昔ながらの懐かしい鶏ガラベースの醤油スープに、チャーシュー・メンマ・小松菜が入っており、めんはスープによく合う細ウェーブめんを使用しています。



シスコーン 日清シスコ

「シスコーン」のパッケージデザインを一新。アイキヤッチの赤帯はそのままだに、スタイリッシュで洗練されたパッケージに生まれ変わりました。おいしさや栄養機能は従来通りで、1食分(40g)に牛乳200mlをかけて食べると、9種類のビタミン、鉄、カルシウムについては、1日に必要とされる量の1/3が摂取できます。また、ヘビーユーザー向けに、440gのお得サイズ「シスコーンMEGA」も登場。湿気を防ぐためチャック付のパッケージにしています。



味の民芸 フードサービス  
豆乳と濃厚ねりごまのタンタンうどん

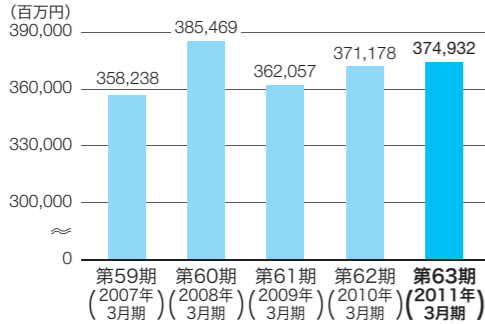
「豆乳と濃厚ねりごまのタンタンうどん」は、濃厚なねりごまの風味と肉味噌の味わいが、手延べうどんならではの“つるみ”を引き立てるイチ押し商品です。辛さ控えめのスープに彩り野菜を加え、一度食べればやみつきになる逸品です。



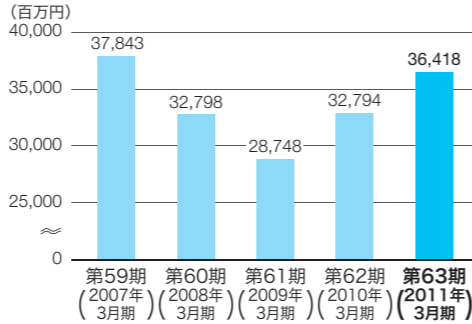
## 財務ハイライト(連結)

### Financial Highlights

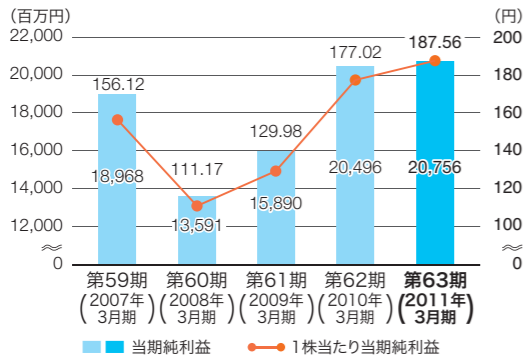
#### ■ 売上高



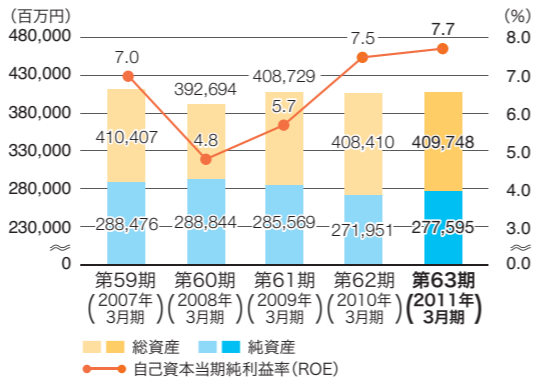
#### ■ 経常利益



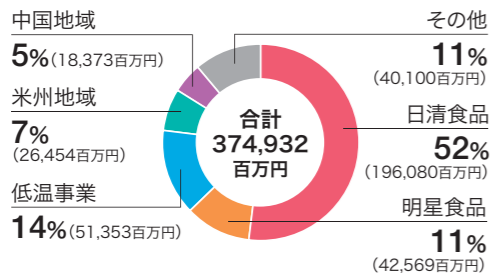
#### ■ 当期純利益・1株当たり当期純利益



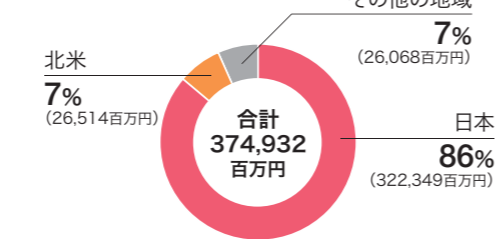
#### ■ 総資産・純資産・自己資本当期純利益率(ROE)



#### ■ 部門別売上高構成比



#### ■ 地域別売上高構成比



## 部門別の業績概況

### Business Overview

#### 日清食品

日清食品(株)では、消費者の皆様の期待を裏切らない製品価値の提案で、新しい需要を創造するための施策を進めてまいりました。

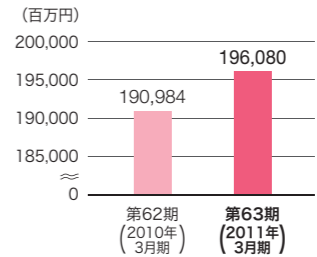
当期における販売状況は、消費者の低価格志向が続くなか、オープンライス製品の低調に加え、夏場の記録的猛暑による総需要及び売上への影響、さらには3月に発生した東日本大震災の影響を受けるなど、厳しい環境にありました。

しかし、9月にリニューアル発売した「日清ラ王」シリーズをはじめ、「日清のどん兵衛」シリーズ、「日清 太麺堂々」シリーズなど、日清独自の技術「3層太ストレート製法」を基軸とした製品が消費者に受け入れられ、好評を博しました。また、「日清麺職人」シリーズでは、販売店舗での陳列を増やすなど積極的な販売施策を行い、前年を大きく上回る売上となりました。

昨年8月に、近畿地区限定で発売した電子レンジ調理専用、即席カップライス「カップヌードルごはん」は、当社の主力製品「カップヌードル」のブランド力の後押しもあり、当社即席ライス製品の5倍という販売予測に対し、10倍の需要を頂き、販売予想を大幅に上回る売れ行きとなりました。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上高は、1,960億80百万円となり、セグメント利益は227億73百万円となりました。

#### ■ 売上高



「日清のどん兵衛」



「日清ラ王」



「日清 太麺堂々」



「日清麺職人」

## 部門別の業績概況

### Business Overview

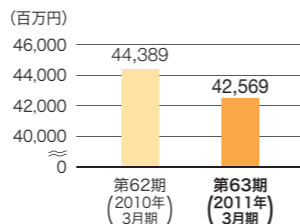
#### 明星食品

明星食品(株)では、ブランド価値向上のため、品質の見直しによるリフレッシュ政策を進め、お客様に価格に見合った価値を実感していただける製品づくりを進めてまいりました。

当期における販売状況は、昨年9月に発売45年目を迎えた「明星チャルメラ」を“発売45年目の大刷新”をテーマにリニューアルを行い、堅調に推移しました。また、「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」においても、品質価値向上に努めました。さらにタテ型BIGサイズカップめん市場に参入し、8月に「明星屋台のラーメン 一平ちゃん 焦がし醤油とんこつ」を皮切りに新製品を次々に発売。この市場で安定した売上を確保することができました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上高は425億69百万円となり、セグメント利益は24億27百万円となりました。

#### ■ 売上高



「明星 チャルメラ」



「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」

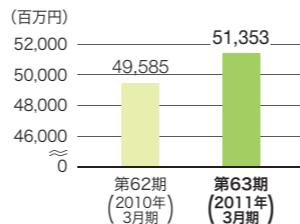
#### 低温事業

低温事業については、日清食品チルド(株)の販売状況は、年間を通して「つけ麺の達人」シリーズや、「有名店つけめん」シリーズなどつけ麺が好調に推移するほか、「横手風焼そば」や「北見風塩焼そば」などご当地焼そばシリーズも好調に推移しました。また、トマトスープの新感覚ラーメン「トマトラーメン」シリーズも消費者に受け入れられ好評を博しました。

日清食品冷凍(株)の販売状況については、「冷凍 日清スパ王プレミアム」シリーズや「冷凍 日清のラーメン屋さんプラス」シリーズ、「冷凍 日清得正カレーうどん」などが好調となりました。また、B級ご当地グルメブームを追い風に、ご当地焼そばシリーズ「冷凍 日清 横手風焼そば」「冷凍 日清 北見風塩焼そば」なども好調に推移しました。

この結果、低温事業の売上高は513億53百万円となり、セグメント利益は18億14百万円となりました。

#### ■ 売上高



「つけ麺の達人」



「スパ王プレミアム」

#### 米州地域

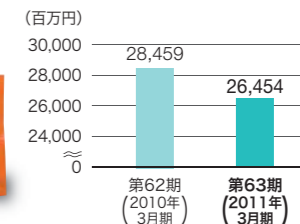
米州地域は、「Top Ramen」や「CHOW MEIN」「Bowl Noodles」「Souper Meal」が堅調に推移しましたが、「Cup Noodles」が苦戦したため、減収となりました。セグメント利益は、「Cup Noodles」の販売数量減に伴う利益減や小売価格の低下により、減益となりました。

この結果、報告セグメントにおける米州地域の売上高は264億54百万円となり、セグメント利益は13億76百万円となりました。



「Top Ramen」

#### ■ 売上高



#### 中国地域

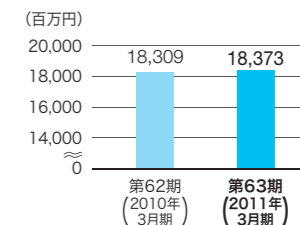
中国地域は、既存製品の袋めんや冷凍食品の売上が減少しましたが、高価格帯製品の販売が好調に推移したことにより、増収となりました。セグメント利益は原材料価格の高騰や販売費の増加等により、減益となりました。

この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上高は183億73百万円となり、セグメント利益は9億88百万円となりました。



「合味道」

#### ■ 売上高



#### その他

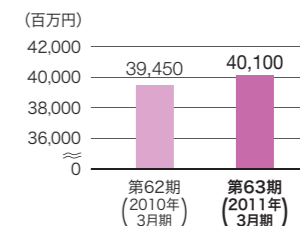
菓子・飲料事業では、日清シスコ(株)の「シスコーンBIG」や日清ヨーク(株)の「ピルクル」「十勝飲むヨーグルト」が好調に推移しました。海外では、ロシアのMAREVEN社の株式を取得し、持分法適用会社としたほか、ベトナムに子会社を設立するなど、基盤強化に努めました。

この結果、報告セグメントにおけるその他の売上高は401億円、セグメント利益は17億48百万円となりました。



「十勝飲むヨーグルト」

#### ■ 売上高





# 連結決算の状況

## Consolidated Financial Statements

### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	第62期 (2010年3月31日現在)	第63期 (2011年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	155,810	144,127
固定資産	252,600	265,621
有形固定資産	109,278	125,882
無形固定資産	4,850	4,465
投資その他の資産	138,471	135,274
<b>資産合計</b>	<b>408,410</b>	<b>409,748</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	88,088	87,655
固定負債	48,371	44,498
<b>負債合計</b>	<b>136,459</b>	<b>132,153</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	276,948	289,976
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	48,416	48,416
利益剰余金	223,857	236,831
自己株式	△20,448	△20,393
その他の包括利益累計額	△10,695	△18,322
その他有価証券評価差額金	3,587	380
土地再評価差額金	△7,682	△7,649
為替換算調整勘定	△6,600	△11,053
新株予約権	204	428
少数株主持分	5,494	5,512
<b>純資産合計</b>	<b>271,951</b>	<b>277,595</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>408,410</b>	<b>409,748</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

### 連結損益計算書

(単位:百万円)

	第62期 (2009年4月1日から 2010年3月31日まで)	第63期 (2010年4月1日から 2011年3月31日まで)
売上高	371,178	374,932
売上原価	203,037	203,202
<b>売上総利益</b>	<b>168,141</b>	<b>171,729</b>
販売費及び一般管理費	140,799	137,192
<b>営業利益</b>	<b>27,341</b>	<b>34,537</b>
営業外収益	6,205	4,772
営業外費用	751	2,891
<b>経常利益</b>	<b>32,794</b>	<b>36,418</b>
特別利益	136	1,004
特別損失	1,776	2,739
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>31,154</b>	<b>34,683</b>
法人税、住民税及び事業税	13,254	11,522
法人税等調整額	△2,983	2,074
少数株主利益	388	329
<b>当期純利益</b>	<b>20,496</b>	<b>20,756</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	第62期 (2009年4月1日から 2010年3月31日まで)	第63期 (2010年4月1日から 2011年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	40,777	29,258
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,339	△33,440
財務活動による キャッシュ・フロー	△38,109	△4,710
現金及び現金同等物に 係る換算差額	237	△1,862
現金及び現金同等物の 増減額	565	△10,754
現金及び現金同等物の 期首残高	71,491	72,688
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	631	—
合併に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	23
現金及び現金同等物の 期末残高	72,688	61,957

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

### 連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その 他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
2010年3月31日残高	25,122	48,416	223,857	△20,448	276,948	3,587	△7,682	△6,600	△10,695	204	5,494	271,951
<b>連結会計年度中の変動額</b>												
剰余金の配当			△7,746		△7,746							△7,746
当期純利益			20,756		20,756							20,756
自己株式の取得				△4	△4							△4
自己株式の処分		△9		58	48							48
利益剰余金から資本剰余金への振替		9	△9		—							—
土地再評価差額金の取崩			△32		△32							△32
その他利益剰余金増加高			6		6							6
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					—	△3,206	32	△4,453	△7,626	224	18	△7,383
<b>連結会計年度中の変動額合計</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>12,973</b>	<b>54</b>	<b>13,027</b>	<b>△3,206</b>	<b>32</b>	<b>△4,453</b>	<b>△7,626</b>	<b>224</b>	<b>18</b>	<b>5,644</b>
2011年3月31日残高	25,122	48,416	236,831	△20,393	289,976	380	△7,649	△11,053	△18,322	428	5,512	277,595

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

### ■ キャッシュ・フローの状況

連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、資金といひます。)の残高は619億57百万円となり、前連結会計年度末と比べ107億30百万円の減少となりました。この要因は次のとおりです。

#### ● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は292億58百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益(346億83百万円)、減価償却費(128億27百万円)や法人税等の支払い(135億80百万円)によるものです。また、前連結会計年度と比べて115億18百万円の資金の減少となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の増加35億28百万円に対し、退職給付引当金の減少130億89百万円があったことによるものです。

#### ● 投資活動によるキャッシュ・フロー

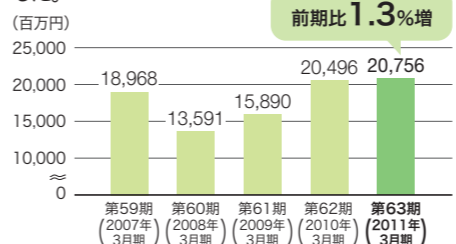
投資活動による資金の減少は334億40百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出(323億28百万円)によるものです。また、前連結会計年度と比べて311億円の資金の減少となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が170億52百万円増加したことや、投資有価証券の売却による収入が185億26百万円減少したことによるものです。

#### ● 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は47億10百万円となりました。これは主に配当金の支払額(77億46百万円)や長期借入金による収入(46億50百万円)によるものです。また、前連結会計年度と比べて333億99百万円の資金の増加となりました。これは前連結会計年度において自己株式の取得による支出340億47百万円があったことによるものです。

### ■ 当期純利益は過去最高益

当連結会計年度の当期純利益は前期比1.3%増となり、過去最高の207億56百万円となりました。



## 東日本大震災への支援活動

2011年3月11日に発生した東日本大震災に際し、日清食品グループでは、直ちに被災地に向けて、「カップヌードル」などのカップめん200万食を支援物資として無償提供するとともに、給湯機能付のキッチンカーを派遣し、被災地における支援活動を実施しました。

被災地での食糧不足が伝えられる中、燃料不足、水不足などの困難もありましたが、約1カ月にわたり、岩手県・宮城県・福島県の避難所で、温かい「カップヌードル」等を提供しました。多くの方々から「温かいものはありがたい」などの感謝のメッセージをいただきました。

### インスタントラーメン200万食を無償提供

日清食品から100万食を提供し、グループ社員の募金により、さらに100万食のカップめんを無償提供しました。

### キッチンカーでの支援活動

社員が延べ27日間、東北地方の避難所でカップめん約2.5万食の支援活動を実施しました。



## !!! CUPNOODLES MUSEUM

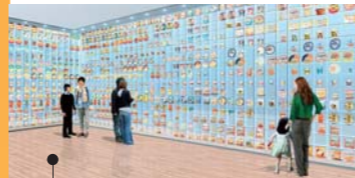
### 横浜みなとみらいに「カップヌードルミュージアム」が誕生

1971年9月18日世界初のカップめんとして発売した「カップヌードル」の40周年を記念し、横浜みなとみらいに「カップヌードルミュージアム」(正式名称:安藤百福発明記念館)を、9月17日にグランドオープンします。

当ミュージアムのコンセプトは、「創造的思考＝クリエイティブシンキング」。日本で生まれ、世界の食文化を変えたインスタントラーメンが、創業者・安藤百福のクリエイティブな思考を通じていかに発明され、どのような発展を遂げていったのかを、国際都市・横浜から、世界に向けて発信していきます。



- 所在地 横浜市中区新港2-3-4
- 施設規模 敷地面積:約4,000㎡  
延床面積:約10,000㎡  
地上5階、地下1階(機械室のみ)
- 開館時間 10:00 ~ 18:00 (入館は17時まで)
- 休館日 火曜日(祝日の場合は翌日が休館日)、年末年始
- 入館料 大人(大学生以上):500円  
高校生以下は入館無料  
※館内の一部施設は別途利用料が必要となります  
※入館料や施設利用料は変更する場合があります



#### インスタントラーメン ヒストリーキューブ

「チキンラーメン」から始まる「インスタントラーメン」のラインナップを展示。インスタントラーメンが、世界的な食文化へと発展していく様子を、豊富な種類のパッケージで表現。



#### クリエイティブシンキング ボックス

安藤百福の言葉や思考、行動を集約した6つのキーワードで、安藤のベンチャーマインド＝クリエイティブシンキングを、斬新なスタイルで表現し、来場者の五感に訴えかけます。



#### ワールド 麺ロード

安藤百福がめんのルーツを探る旅「麺ロード」で出会った世界中のさまざまなめんを味わえる飲食施設。アジアのナイトマーケット(夜市)のような空間で、世界各国の珍しいめんを味わえます。

#### カップヌードル パーク

「カップヌードル」の製造工程を遊びながら楽しく体験できる遊具施設。巨大な工場の中で、自分自身がめんとなって、製めんから出荷されるまでの一連の製造工程を全身で体感できます。



## 第7回・第8回「株主懇親会」を開催

株主の皆様から当社経営陣に、グループ会社の経営や製品等に関するご意見やご質問を直接お聞かせいただき、また株主の皆様にも、当社グループについて、より一層ご理解を深めていただく機会として、昨年9月9日、第7回「株主懇親会」を「ホテルニューオータニ・大阪」にて開催し、また同年11月25日に、第8回「株主懇親会」を「ホテルニューオータニ・東京」にて開催いたしました。第7回「株主懇親会」は2,050名、第8回「株主懇親会」は2,807名の株主様にご出席いただきました。また両「株主懇親会」には、当社代表取締役社長・CEO安藤宏基をはじめ、役員、執行役員ならびに主要グループ会社の役員が出席し、株主の皆様と直接お話をさせていただき、貴重なご意見を多数頂戴することができました。両「株主懇親会」とも午前と午後の2部制にて



開催し、会場では、日清食品の「ラ王」、「カップヌードルごはん」、明星食品の「究麺」、日清食品チルドの「北見風塩焼そば」、日清食品冷凍の「スパ王プレミアム」、日清シスコの「ダックワーズ」、日清ヨークの「ピルクルLife+」、味の民芸フードサービスの「黒酢の酸辣スープうどん」、タイ日清の「Cup Noodles トムヤムクン」、ニッシンマスの「Newdles ミーゴレン」、そして、チキンラーメンを使った、栄養士による創作料理「チキンラーメンdeチヂミ」等、当社グループ会社の新製品等のご試食いただき、また当社の関連グッズや製品等が当たる抽選会も実施いたしました。

これからも「株主懇親会」を継続して開催し、株主の皆様にも、より一層当社及びグループ会社に対するご理解を深めていただきたいと思います。

## 「個人投資家向け会社説明会」を開催

2010年8月から2011年3月まで、野村證券、大和証券、SMBC日興証券の14カ所の本支店にて、「個人投資家向け会社説明会」を実施いたしました。当社代表取締役副社長・COO中川晋をはじめ、取締役、執行役員が、当社の企業概要、業績、中期経営計画、当社グループの主要な取組み等についての説明を行い、14会場で1,541名の個人投資家の皆様にご出席いただきました。

「個人投資家向け説明会」では、個人投資家の皆様から、当社グループの海外戦略等についてご質問を数多く頂戴し、当社グループ会社を理解していただくことができました。

## 株主優待制度の変更

2011年3月末日現在の株主様を対象とする株主優待より、下記のとおり、「株主優待(A)」と「株主優待(B)」のいずれかをお選びいただく「選択制」とさせていただきます。

従来の株主優待の基準を細分化し、株主優待(A)では「500株以上1,000株未満ご所有の株主様」及び「3,000株以上ご所有の株主様」に贈呈する「当社グループ製品詰合せ」の内容をグレードアップするとともに、「500株以上ご所有」の株主様には従来の「当社グループ製品詰合せ」に加え、当社グループの外食事業会社「味の民芸フードサービス(株)」が運営する店舗での「お食事券」を持株数に応じて贈呈させていただきます。

また社会貢献をご希望される株主様には、「株主優待(B)」として、「国連WFP協会(特定非営利活動法人 国際連合世界食糧計画WFP協会)への寄付」をお選びいただくこともできるようになりました。

なおこの度の変更に伴い、株主様のご意向を確

認させていただき期間を設けさせていただくため、株主優待品の贈呈時期を、3月末日現在の株主様には従来の6月から7月に、また9月末日現在の株主様には従来の12月から翌年の1月に、それぞれ変更させていただきます。



2010年度製品詰合せセット例  
(3,500円相当/1,000株以上3,000株未満)

対象株主	100株以上 500株未満	500株以上 1,000株未満	1,000株以上 3,000株未満	3,000株以上
株主優待(A)	1,500円相当の グループ会社製品	2,500円相当の グループ会社製品 + 味の民芸フードサービス 「2,000円」分の お食事券	3,500円相当の グループ会社製品 + 味の民芸フードサービス 「3,000円」分の お食事券	4,500円相当の グループ会社製品 + 味の民芸フードサービス 「4,000円」分の お食事券
株主優待(B)	国連WFP協会へ 1,500円を寄付	国連WFP協会へ 2,500円を寄付	国連WFP協会へ 3,500円を寄付	国連WFP協会へ 4,500円を寄付
基準日 (贈呈日)	3月末日現在の株主様に対し、7月に贈呈いたします。 9月末日現在の株主様に対し、翌年1月に贈呈いたします。			

※「株主優待(A)」、「株主優待(B)」のいずれかを選択していただきます。

# 会社データ・株式の概況 (2011年3月31日現在)

## Corporate Data/Stock Information

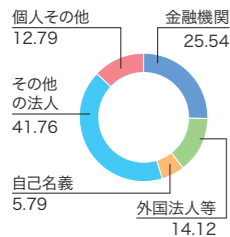
### 会社概要

商号	日清食品ホールディングス株式会社 (NISSIN FOODS HOLDINGS CO., LTD.)
設立	1948年9月
資本金	25,122,718,774円
従業員数	396名(連結 7,505名)
東京本社の所在地	東京都新宿区新宿六丁目28番1号
大阪本社の所在地	大阪市淀川区西中島四丁目1番1号
事業内容	グループ事業会社(国内・海外)への 経営サポート等

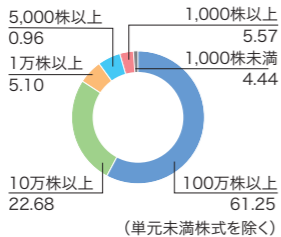
### 株式の状況

発行可能株式総数	500,000,000 株
発行済株式総数	117,463,685 株
株主数	45,002 名
1単元の株式数	100 株
単元株主数	42,721 名

#### 所有者別状況(%)



#### 所有数別状況(%)



#### 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団	79,043	7.14
三菱商事株式会社	78,000	7.05
伊藤忠商事株式会社	78,000	7.05
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	56,616	5.12
株式会社安藤インターナショナル	40,000	3.61
株式会社みずほコーポレート銀行	33,750	3.05
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	30,251	2.73
株式会社三菱東京UFJ銀行	26,285	2.38
小野薬品工業株式会社	24,604	2.22
江崎グリコ株式会社	23,610	2.13

(注1) 当社は、自己株式67,955百株(発行済株式総数比5.79%)を保有しておりますが、上記の大株主の状況から除いております。  
(注2) 持株比率の算定にあたっては、自己株式数を除いて算出しております。

### 役員及び執行役員

代表取締役 取締役社長・CEO	安藤 宏基
代表取締役 取締役副社長・COO	中川 晋
日清食品株代表取締役社長	安藤 徳隆
専務取締役・CMO	松尾 昭英
日清食品株代表取締役副社長	成戸 隆之
常務取締役・CSO	笹原 研
常務取締役	田中 充
日清食品チルド株代表取締役社長 兼 日清食品冷凍株代表取締役社長	横山之雄
取締役・米州総代表 兼 米国日清社長	小島 順彦
取締役・CDO 兼 食品総合研究所長	小林 栄三
取締役・CFO	石倉 洋子
取締役(社外取締役)	牧園 俊作
取締役(社外取締役)	金森 一雄
取締役(社外取締役・独立役員)	堀之内 徹
常勤監査役	高野 裕士
常勤監査役(社外監査役)	松村 泰治
監査役(社外監査役)	鉄林 修
監査役(社外監査役・独立役員)	横越 隆史
上席執行役員・アジア総代表 兼 日清シンガポール社長	山田 敏広
上席執行役員・欧州総代表 兼 ドイツ日清社長	安藤 清隆
上席執行役員・特命事項担当	右近 龍也
上席執行役員・CQO 兼 食品安全研究所長	楠本 一人
執行役員・中国総代表 兼 香港日清社長	坂井 孝司
執行役員・総務部長	佐々木 智
執行役員・事業戦略本部副本部長	服部 秀樹
執行役員・技術統括部長	山田 恭裕
執行役員・事業戦略本部副本部長	
執行役員・CAO 兼 広報部長	
執行役員・CPO	

(注) 石倉洋子氏につきましては、そのお名前が高名であるため、上記のとおり表記しておりますが、戸籍上のお名前は、栗田洋子氏であります。  
CEO Chief Executive Officer の略記(最高経営責任者)  
COO Chief Operating Officer の略記(最高執行責任者)  
CMO Chief Marketing Officer の略記(グループマーケティング責任者)  
CSO Chief Strategy Officer の略記(グループ事業戦略責任者)  
CDO Chief Development Officer の略記(グループ食品総合研究責任者)  
CFO Chief Financial Officer の略記(グループ財務責任者)  
CQO Chief Quality Officer の略記(グループ安全研究責任者)  
CAO Chief Administrative Officer の略記(グループ管理責任者)  
CPO Chief Production Officer の略記(グループ生産責任者)

### 株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間

配当金受領株主確定日：期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

単元株式数：100株

定時株主総会：6月中に開催

基準日：3月31日  
その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。

公告の方法：電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。(公告掲載URL)  
<http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/koukoku/>

株主名簿管理人  
特別口座の  
口座管理機関  
：みずほ信託銀行株式会社

株主名簿管理人  
事務取扱場所  
：大阪市北区曾根崎二丁目11番16号  
みずほ信託銀行株式会社  
大阪支店証券代行部

郵便物送付先  
及びお問合せ先  
：〒168-8507  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-288-324(フリーダイヤル)

上場金融商品取引所：東京証券取引所市場第一部  
大阪証券取引所市場第一部

### ご案内

#### (1) 株式に関するお手続きについてのお問合せ先について

株式のお手続きに関するお問合せ先		
お手続き内容	証券会社等の 一般口座等	当社の特別口座利用 (※)
住所変更、単元未満株式 買取請求等各種手続	一般口座等開設の 証券会社等	特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL0120-288-324 (フリーダイヤル)
特別口座から証券会社等の 個人口座への振替請求	—	—

※2009年1月5日の株券電子化時に株券をお手元で保管されていた株主様の株式につきましては、当社が開設しました特別口座において管理されております。特別口座で管理されております株式を一般口座(株主様が証券会社等に開設されました口座)に振替えいただくことができませんので、上記のみずほ信託銀行株式会社証券代行部までお問合せください。

#### (2) 株主様用電子メールアドレスのご案内

当社は、株主様からのご意見をお電話、お手紙の他に電子メールを利用してお寄せいただくための株主様用電子メールアドレスを設けております。

当社についてお気付きの事柄がございましたら、次のメールアドレスまでご意見をお寄せ下さい。

なお、お電話、お手紙でもお待ちしております。

- 株主様用電子メールアドレス  
E-mail soumu@nissinfoods-holdings.co.jp
- ご連絡先  
〒160-8524  
東京都新宿区新宿六丁目28番1号  
日清食品ホールディングス株式会社  
総務部 株主係  
TEL (03) 3205-5111(代表)  
FAX (03) 3205-5059  
E-mail soumu@nissinfoods-holdings.co.jp

### NISSIN 日清食品ホールディングス株式会社

東京本社 〒160-8524 東京都新宿区新宿六丁目28番1号  
TEL (03) 3205-5111(代表)  
大阪本社 〒532-8524 大阪市淀川区西中島四丁目1番1号  
TEL (06) 6305-7711(代表)  
ホームページ <http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/>

